

巻頭言



会長 中前 和則

平成 27 年度に向けて

会員の皆様に於かれましては益々ご活躍、ご健勝のことと存じます。

先般の日本理学療法士協会（日理協会）の役員参考選挙にご支援を頂き理事の枠内に入ることができました。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、今、日理協会は若い会員が急増する中、学術活動、公益活動、職能活動のバランスのとれた強い組織が必要です。そのためには、日理協会と都道府県士会及び連盟の各々が組織力を高め、強い組織として連携することが必要です。

若い会員の将来のためには、これは絶対必要なことであり、熟年世代の私達はその基盤を築くために尽力しなければならないと考えています。

私は、日理協会理事、日理連盟副会長（全国ブロック幹事長）兼務の立場から、各団体の連携及び組織力強化を図りたいと考えています。そして、それらを和歌山県士会の発展に繋げたいと考えています。

今、日理協会では、厚生労働省の依頼を受け、地域包括ケアシステム構築の推進に率先して取り組んでいます。これには、正に学術活動（質的向上）、公益活動（地域参加）、職能活動（職域拡大）の三位一体の取り組みが必要です。

私も現在、日理協会の地域包括ケア推進渉外担当部に所属しており、県士会としましては、地域包括ケア推進特別委員会（森本昌信委員長）を設置しアクションプランを作成し推進しています。

地域包括ケアシステム及び予防事業の推進には、

- ①理学療法士の資質向上への取り組み（本年度より認証研修実施中）
- ②県理学療法士協会の事務機能の強化（市町村からの窓口対応を含め事務職員の雇用を検討中）
- ③市町村への働きかけ（市町村及び各団体への依頼）
- ④市町村への会員派遣（人員確保）
- ⑤派遣費用の捻出等

上記が必要であり方向性が決まったものから順次実施しています。

日本理学療法士協会では、上記を推進するためにリハ専門職集団として、都道府県ごとの理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会で合同の連絡協議会を設置し、そこを窓口として市町村と対応するように勧めています。

当県でも、実施に向けて特別委員会及び3士会長で検討を開始しています。

また、県の高齢者施策策定委員会、和歌山県地域リハビリテーション協議会等に参加し、積極的に地域包括ケアシステム推進への協力を県及び主な団体に働き掛けると共に、補助金についてお願いをしてきました。

県からは、例年の補助金に加え、地域医療再生基金、新たな医療・介護の基金を県医務課、長寿社会推進課から受けられることになっています。

これらを、市町村への会員派遣費用、会員の資質向上のための研修会、リハ三団体合同の研修会、他団体との合同研修会等への費用に充てたいと考えています。

会員の方々におかれましても、明日の理学療法（士）の発展のため、県協会活動にご理解とご協力をお願いします。

◇平成 26 年度和歌山県保健衛生功労者知事感謝状受賞の報告

表彰審査委員長 前 裕充

去る 12 月 18 日（月）に和歌山県保健衛生功労者知事感謝状贈呈式がアバローム紀の国で有りました。当会より「岩崎正和」氏が受賞されました。この賞は保健衛生に長年従事された方に贈られるものです。授賞式には会長代理としまして安井常正理事が出席致しました。贈呈式では、約 50 名ほどの規模で、粛々と執り行われたようです。誠にめでたう御座いました。



理事会 報告

■平成 26 年度第 8 回理事会 報告■

日 時：平成 27 年 1 月 24 日（土） 15:30～19:00

場 所：アバローム紀の国 4 階 セセラぎの間

参加者：15 名

（理事）中前、林、上西、森本、前、岩崎、松井、須賀、池田、南、永金、辻中、西川

（監事）川村、浦

（書記）坂本

委任状：吉富、安井

・会長挨拶：本年も引き続き、学術・公益・職能の各事業を行っていきたいのでよろしくお願い致します。

議 案：

1. 会員新規入会申請者 1 名あり（宮澤 直樹：串本有田病院）→承認
2. 補正予算案について：
福祉・保健局の平成 26 年度予算として 70 万円を計上していたが、今年度、急遽新規事業が入った（地域包括ケア推進に向けての研修会受講及び推進リーダー研修開催等）ため、合計 120 万円に修正し補正予算 50 万円増額を計上する。→承認
3. 平成 27 年度事業計画案について
各局より事業計画案を提示→大きな変更等なく、承認
4. 平成 27 年度事業予算案について
社会局事業費 10 万円から 20 万円に変更→承認
5. 会費割引制度について
日本理学療法士協会が会費割引制度を実施するにあたり、県協会としても同様に割引制度を検討する。
永年会員
満 65 歳以上かつ会員歴 25 年以上で割引申請を行った者について、次年度の年会費を割引する。
11,000 円 → 3,000 円（会費規程を作成する）
育児休業割引
育児休業期間中に割引申請を行った会員について、次年度会費を割引する。

11,000 円 → 3,000 円（会費規程を作成する）

詳細は次回理事会に提出する。→ 承認

6. 各局からの報告・検討、次年度計画・予算案：

1) 事務局：資料にそって報告→承認

- ・会員異動等について

平成 27 年 1 月 19 日現在 会員数：1,023 名

※現在休会会員については年度末に休会延長申請を行う必要があるため、申請を促すよう各地域局においても協力を戴きたい。

- ・会費の割引制度について

日理協が新たに割引制度を設けた事に際し、日理協の規定に沿って当協会も日理協と同様の割引制度を適応する。

夫婦会員は従来どおり実施する。

当協会の減額金額の返金は財務局より申請者に振り込みを行っているが、振り込み手数料は申請者負担とする。→ 今後会員への連絡を行っていく。

- ・事務局総務部より、日理協からのメールを転送する機会が非常に多くなってきている。

引き続き各局で必要な内容について対応をお願いする。

- ・補助金事業について：資料にそって報告

できるだけ既存の事業を補助金事業に割り当てて開催する。

2) 学術局：資料にそって報告→承認

- ・研修会等協会事業の日理協へのポイント登録について

今年度事業に関して、学術局と関係各局担当理事で内容に応じた履修項目の統一を早急に行う。

→今年度中に決定し、今後の研修会等については各担当局で履修ポイントの項目・ポイント数を会員に周知できるようにする。

- ・理学療法士講習会は次年度から開催県士会の独立開催となるため、日理協から 6 万円の補助金が下りる他以外、開催費用は各県士会の独立採算となる。

- ・来年度は学術局の独立採算で事業を行い、結果を見て翌年度は県協会の事業とするか、学術局の独立事業とするかを再検討する。

3) 福祉・保健局：資料にそって報告→承認

- ・補正予算について：資料にそって報告→承認

- ・現在福祉保健局で行っている事業のうち、各地域局で開催できれば、そちらに事業委譲するなど、他の局に委譲可能な事業は相互に相談し負担の分担を随時図るようにする。

4) 社会局：資料にそって報告→承認

- ・理学療法士長の研修会は社会局事業とし予算（10 万円）も社会局で計上する

5) 厚生局：資料にそって報告→承認

6) 広報局：資料にそって報告→承認

7) 紀北地域局：資料にそって報告→承認

- ・永金理事が紀南地方への転居に伴い来年度紀北局担当理事は林副会長が兼務する

8) 和歌山市地域局：資料にそって報告→承認

9) 中紀地域局：資料にそって報告→承認

10) 紀南地域局：資料にそって報告→承認

11) 財務局：資料にそって報告→承認

12) 代議員：資料にそって報告→承認

7. その他

- ・国体支援特別委員会：資料にそって報告→承認

サポートボランティアに協力してくれる会員に対し相手をけがさせた場合に保証となる傷害保険をどのような保険にするか検討する。

- ・新たな財政支援制度（基金）に係る事業提案について：資料にそって報告→承認

- ・地域包括ケア推進特別委員会について：資料にそって報告→承認

- ・日理協からアンケート、アクションプラン作成等の依頼あり。各理事にも確認をお願いする。

次回理事会 3 月 21 日（土）予定

福祉・保健局長 須賀 和明

今年度は、依頼事業などが多く、地域に「理学療法士」という職種が貢献できたと思います。また、福祉保健局では、推進リーダー養成を中心に事業展開し、たくさんの先生方が推進リーダーとなることが出来ました。

来年度もたくさんの事業と推進リーダーなどの地域のニーズに合わせられる事業展開を心がける所存です。是非ともご参加ください。

◇「地域包括ケア推進部」より

地域包括ケア推進部長 林元 光広

地域包括ケア推進部では、「地域包括ケア推進リーダー」及び「介護予防推進リーダー」の育成の為、説明会と紀北地区・紀南地区に分けて導入研修会を行いました。今年度ご参加できなかった先生方は来年度も実施予定です。今後の理学療法士の活動において重要な機会となりますので来年度も奮って参加を宜しくお願い申し上げます。

◇「推進リーダー養成」事前説明会

下記の通り、推進リーダー養成につきまして、事前説明会を行いました。ご多忙の中、ご参加いただきました先生方また説明していただきました先生方にお礼申し上げます。

1) 施設リーダー向け研修会

日 時：平成26年7月27日（日）11:00～12:00

場 所：和歌山県立医科大学4階 臨床講堂1

説明者：岩崎（栗原整形）

2) 第1～6ブロックでの説明会

①第1ブロック（橋本・伊都圏域）

日 時：平成26年8月1日（金）19:00～20:00

場 所：紀和病院 PT室

説明者：松井（国際厚生）、梅下（老健さくらの丘）

参加者：18名

②第1ブロック（岩出・那賀圏域）

日 時：平成26年8月8日（金）19:00～20:00

場 所：那賀病院 北別館1階講義室

説明者：松井（国際厚生）、林（貴志川リハ）

参加者：15名

③第2aブロック

日 時：平成26年8月18日（月）19:00～20:00

場 所：和歌山国際厚生学院

説明者：西本（寺下病院）、岩崎（栗原整形）

参加者：38名

④第2b cブロック

日 時：平成26年8月22日（金）19:00～20:00

場 所：琴の浦リハビリテーションセンター

説明者：川口（中谷病院）、林元（訪看はやしもと）

参加者：57名

⑤第3ブロック

日 時：平成26年7月19日（土）[中紀地区新人研修会時] 17:00～18:00

場 所：済生会有田病院 PT室

説明者：林元（訪看はやしもと）、岩崎（栗原整形）

⑥第4ブロック

日 時：平成26年7月29日（火）18:30～19:30

場 所：北出病院 リハビリテーション室

説明者：小橋（恵友病院）、岩崎（栗原整形）

参加者：43名

⑦第5ブロック

日 時：平成26年8月27日（水）19:00～20:00

場 所：老人保健施設 成華苑 リハビリテーション室

説明者：岩崎（栗原整形）、須賀（白浜はまゆう）

参加者：15名

⑧第6ブロック

日 時：平成26年7月5日（土）〔第1回紀南地域局研修会時〕

場 所：新宮市立医療センター リハビリテーション室

説明者：岸尾（くしもと町立）

◇推進リーダー養成導入研修会

～紀北会場～

1) 紀北地区 地域包括ケア推進リーダー養成導入研修会

日 時：平成26年10月5日（日）9:00～16:00

場 所：和歌山県立医科大学 臨床講堂1

対 象：和歌山県理学療法士協会会員

参加者：129名（和歌山県理学療法士協会会員）

講 師：川口（中谷病院）、梅下（老健さくらの丘）、浅見（貴志川リハ）、林元（訪看はやしもと）

岩崎（栗原整形）、松井（国際厚生）

2) 紀北地区 介護予防推進リーダー養成研修会

日 時：平成26年11月2日（日）9:00～16:00

場 所：和歌山市民会館 市民ホール

対 象：和歌山県理学療法士協会会員

参加者：107名

講 師：林（貴志川リハ）、脇田（はしもと整形）、西本（寺下病院）、龍神（龍神整形）、岩崎（栗原整形）

松井（国際厚生）

～紀南会場～

3) 地域包括ケア推進リーダー養成導入研修会

日 時：平成26年10月26日（日）9:00～16:00

場 所：白浜はまゆう病院

対 象：和歌山県理学療法士協会会員

参加者：52名

講 師：岸尾（くしもと町立）、小橋（恵友病院）、松井（国際厚生）、岩崎（栗原整形）

4) 介護予防推進リーダー養成導入研修会

日 時：平成26年11月30日（日）

場 所：上富田福祉会館

対 象：和歌山県理学療法士協会会員

参加者：55名

講 師：岸尾（くしもと町立）、須賀（はまゆう）、西川（リハビリ博愛）、松井（国際厚生）、岩崎（栗原整形）



◇第 84 回地域リハビリテーション講座

福祉・保健局長 須賀 和明

毎年2回行っている「地域リハビリテーション講座」です。今年2回目で84回目となりました。今回は平成26年12月6日に美浜町で地域住民の皆様対象にリハビリテーション講座を美浜町地域福祉センターにて開催いたしました。30名を超える参加人数となりました。運営にご協力頂きました先生方ありがとうございました。

第84回地域リハビリテーション講座

主 催：公益社団法人 和歌山県理学療法士協会

日 時：平成26年12月6日（土）

場 所：美浜町地域福祉センター

対 象：美浜町住民

講 師：須賀・森本・廣田（白浜はまゆう）、大江（玉置病院）、武田（紀南病院）

西川・花澤（リハティ博愛）、殿水（和歌山病院）、橋尾・小早川・石塚（国保日高）

◇第 84 回地域リハビリテーション講座に参加して

白浜はまゆう病院 廣田 倫子

平成26年12月6日（土）に美浜町で「家族介護教室 ～知っ得！体験しながら学ぶ介護のコツ」に参加させて頂きました。当日は住民の方々がたくさん参加されていました。

前半は「高齢者の身体機能について」の講義でしたが、参加された方の中には様々な健康教室に通われている方も多く、運動・健康に対する意識やモチベーションがとても高いと感じました。

後半では、起き上がり、寝返り、立ち上がりの介助方法の説明と実技指導・体験を実施しましたが参加した理学療法士スタッフの人数も多く、実技指導も分担して行うことができ、介助方法に関する悩み相談も個別に対応すること

ができました。

実際に介護をされている方は少なかったですが、介助方法を体験することで、「こうしたら介助が楽やった」との声も聞かれ、とても有意義な地域リハ講座となりました。

今回地域リハ講座に参加して理学療法士は予防といった面にも積極的に関わっていかねばならないと感じました。今後もこのような機会を通し、地域の方々に貢献していきたいと思います。



◇平成 26 年度田辺市中辺路文化祭健康教育相談事業 参加

健康推進部長 鳥淵 佳寿

田辺市より委託され、中辺路の地域住民の皆様を対象として、健康教育相談事業に参加しました。参加者の皆さんはそれぞれ身体に悩みを持ち、日々過ごされていることを改めて知りました。我々の理学療法に関する知識・技術を十分に伝達することができたのではないかと思います。今後も我々の職域拡大の為に邁進していきたいと思っています。

主 催：田辺市

日 時：平成 26 年 12 月 6 日（土）

場 所：中辺路コミュニティーセンター（田辺市中辺路）

参加者：鳥淵（訪問看護ふるさと）



◇第15回和歌山県病院大会・第19回和歌山県病院協会学術大会報告

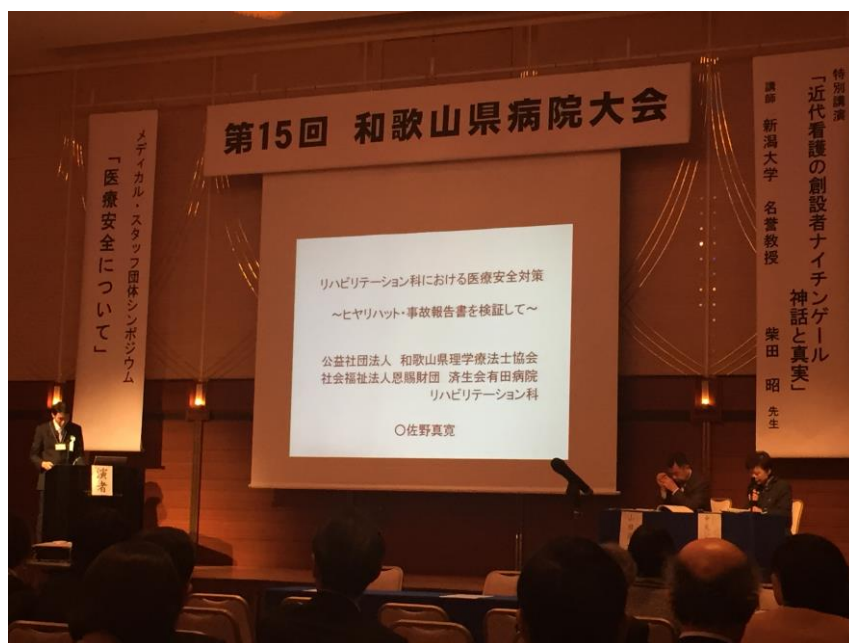
コメディカル担当部 部員 梅下 治彦

H.27.2.11（水・祝）、ホテルアバローム紀の国において、第15回和歌山県病院大会、第19回和歌山県病院協会学術大会が催されました。今回は、H.26.10.13（月・祝）に開催予定でしたが、大型台風の接近に伴い、大会としては異例の延期ということで開催されました。週半ばの祝日でありましたが多数の参加のなか開催されました。

学術大会では、一般演題54題の中で当協会から6題の演題発表があり、活発な質疑応答がなされました。発表されました6名の先生方お疲れ様でした。又、多忙にも関わらず、座長をお引き受け下さいました河西田村病院の赤澤直紀先生、名手病院の植田貴之先生どうもありがとうございました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。昨年度同様、今大会も各セッションより1題優秀演題を座長より選出されました。当協会からは、医療法人橋本病院リハビリテーション科の東堂敬子先生の「簡易センサーを試みて」が選ばれました。東堂先生、おめでとうございます。今回を機にさらに学術研鑽に励んで下さい。

午後からのメディカル・スタッフ団体シンポジウムでは、当協会を代表しまして済生会有田病院の佐野真寛先生が「リハビリテーション科における医療安全対策」と題しまして、事故報告書を検証し、医療安全への取り組みの再検討について発表されました。佐野先生貴重な発表ありがとうございました。

最後になりましたが、年々、当協会からの特に若い先生方の発表が増えてきており非常に心強く感じられます。その一方でリハビリテーションのセッションからの他職種の発表もちょうど感じられます。我々の日々の業務に関心を持って頂いてくれるようになってきている反面、我々が今まで以上に日々研鑽を積まないと淘汰されるのではと身が引き締まる思いでした。来年も我々理学療法士の可能性を他職種の方々にアピールできるように多数の先生方の発表を期待します。



厚生局より

◇第4回ボーリング大会

福利厚生部長 津村 正臣

去る平成26年10月18日、TTボウル和歌山店にて平成26年度和歌山県理学療法士協会第4回ボーリング大会を行いました。

前年度は幹事である私の不手際により人数が集まらず、開催は見送られましたが、今回は20名の参加を頂き無事に開催する事が出来ました。ありがとうございました。

結果は、白浜はまゆう病院の坂本先生が2ゲームトータル357というスコアで見事優勝されました。おめでとうございます。坂本先生は第3回に続く連覇で遠方からの参加にも関わらず、白浜はまゆう病院ボーリング部のエースとして十分過ぎる力を発揮されました。坂本先生にはディフェンディングチャンピオンとして次回も参加の程、よろしくお願いします。

また第5回、第6回と続けていければと考えておりますので、次回もお誘い合わせの上、多数の参加をお待ちしております。



◇新年会の報告

厚生局担当理事 南 和幸

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。

平素は、和歌山県理学療法士協会厚生局の活動にご協力頂きまして有り難うございます。

平成27年1月24日（土）ホテルアバローム紀の国・そよ風の間において新年会を開催致しました。参加者は45名で、次の日の研修会講師の亀田総合病院の山内弘喜先生にも御参加頂き盛大に開催することが出来ました。今年は、例年になく若い先生方多数に参加して頂き大変有意義な親睦の場となったように思います。

今後もまた、若い会員にもどしどし参加して頂き、今まで以上に楽しく、有意義な懇親会、情報交換の場になるようにと考えていますので、是非とも皆様の御参加をお待ちしています。よろしくお願いします。

◇高野山 金剛峯寺職員に対する「杖・車椅子利用者への対応等の講習会」の実施報告

広報局担当理事 吉富 俊行

平成 26 年 12 月 25 日（木）、高野山大師教会 中広間において、金剛峯寺職員 100 名に対し、「杖・車椅子利用者への対応等の講習会」を実施いたしました。

金剛峯寺さんは、平成 21 年から 6 年間、毎年 7 月に実施する理学療法週間イベントにて、杖の無料点検会の場所を提供して頂き、テントや椅子等もお借りし大変お世話になっています。当協会は高野山を訪れる観光客や参拝者の杖先ゴムの無料交換や高さ調整、車椅子利用者のタイヤ空気圧・フットレスト高の調整等を実施させて頂き、毎年大変喜ばれています。

高野山では、今年 4 月から「高野山開創 1200 年記念大法会」が執り行われ、たくさんの参拝客が訪れ高齢者や障害のある方々も多く来られるとのことで、職員の車いすや杖利用者に対する知識が必要であるということで当協会に依頼があり今回の事業実施に至りました。

当日は恐れていた雪もちらつく程度で路面も凍らず無事に山上まで到着でき、午前・午後の 2 回講演で、バリアフリーのお話や簡単な車椅子のメンテナンス方法、杖利用者・視覚障害者の介助の仕方、車椅子利用者の段差や階段、スロープでの介助の仕方等、体験を交え学んで頂きました。袈裟を着たお坊さんが車椅子に乗っている姿は非常に興味深く、皆さん熱心に耳を傾けて頂きとても意義のある講習であったと言われました。

平日の開催にもかかわらず、ご協力頂きました会員の皆様にお礼申し上げます。

参加会員：阪口（海南医療センター）、前田（紀和病院）、井澗（済生和歌山）、吉富（日赤）



地域局より

【紀北地域局】

紀北地域局担当理事 永金 宣秀

第2回紀北地域局研修会

日 時：平成27年2月7日（土）15：00～18：00

場 所：公立那賀病院

内 容：「Women's health 理学療法 ～ライフサイクルの変化への対応～」

講 師：宇治 真澄（はしもと整形外科）

花澤 侑里佳（リバティ博愛）

参加者：13施設29名

会 議

日 時：平成27年2月27日（金）19：30～

場 所：名手病院

内 容：平成27年度 第1ブロック スケジュール会議

参加者：6施設9名

【和歌山市地域局】

和歌山市地域局担当理事 辻中 清晃

和歌山市局・紀北局合同勉強会

日 時：11月30日（日）

場 所：和歌山国際厚生学院 講堂

参加者：16施設33名

内 容：演題発表

1. 『Motor Relearning Program に基づくアプローチ 下着着脱動作の獲得に向けて』
発表者：花澤 晃宏（山口整形外科）
2. 『腓骨外果骨折後の早期スポーツ復帰に向けた取り組み エルゴメーター高負荷パワートレーニングを用いて』
発表者：花澤 晃宏（山口整形外科）
3. 『右 THA 術後、右 LR～右 Mst 時にデュシャンヌ歩行を呈した一症例』
発表者：島 啓文（山口整形外科）
アドバイザー：花澤 晃宏（山口整形外科）
4. 『地域在住高齢者の骨格筋量指標を推定する簡便な予測式の作成』
発表者：徳村 太地（河西田村病院）
アドバイザー：西川 勝矢（河西田村病院）
5. 『炎症性筋疾患である封入体筋炎患者のリハビリテーションを経験して』
発表者：坂本 陽平（公立那賀病院）
アドバイザー：山本 勝己（公立那賀病院）
6. 『脳卒中患者の歩行動作向上に向けバランス機能にアプローチした一症例』
発表者：辻 友晃（嶋本脳神経外科・内科）
アドバイザー：赤澤 直紀（河西田村病院）

平成26年度第3回和歌山市地域局勉強会準備委員会

日 時：平成26年12月16日（火）

場 所：和歌山労災病院 リハビリテーション室

参加者：赤澤、井上、河口、高根、辻中、原野、由利、吉田

内 容：理学療法専門研修会（新人教育プログラム）準備進捗状況

平成27年度和歌山市地域局事業計画について

平成 26 年度理学療法専門研修会（新人教育プログラム）

日 時：平成 27 年 2 月 1 日（日）午前 10 時～午後 3 時

場 所：和歌山国際厚生学院 講堂

参加者：111 名

内 容：講義【理学療法の基礎】

B-1 『一次救命処置と基本処置』	講 師：高根 良輔	（日赤和歌山医療センター）
B-2 『クリニカルリーズニング』	講 師：小林 啓晋	（角谷リハビリテーション病院）
B-3 『統計方法論』	講 師：赤澤 直紀	（河西田村病院）
B-4 『症例報告・発表の仕方』	講 師：辻中 清晃	（和歌山労災病院）

平成 26 年度和歌山市地域局会議・勉強会準備委員会

日 時：平成 27 年 3 月 17 日（火）19 時 30 分～

場 所：和歌山労災病院 リハビリテーション室

内 容：平成 27 年度和歌山市地域局事業計画について

事務局より

他団体・他士会からのニュース 学術誌の受領報告（H26.11.15～H.27.2.26）

【ニュース】

（公社）兵庫県 No.157、No.158	（公社）山梨県 No.143
（公社）新潟県 No.167、No.168	（公社）大分県 No.101(162)
（公社）滋賀県 No.188	（一社）静岡県 No.148
（公社）広島県 No.235、No.236	（公社）佐賀県 No.100
（公社）愛知県 No.176	（公社）大阪府 No.247
（公社）神奈川県 No.260、No.261	（公社）熊本県 No.117
（公社）秋田県 No.162	（公社）岐阜県 No.111、No.112
（一社）群馬県 No.120	（一社）京都府 No.263
（社）富山県平成 26 年度 No.3(135)	

【学術誌・学会誌・機関誌・記念誌】

第 1 回日本スポーツ理学療法学会術集会誌
埼玉県理学療法士会会報 平成 26 年 第 79 号
愛知県理学療法学会誌 Vol.26 No.2 2014
月山和男先生追悼文集 公益社団法人和歌山県病院協会
和歌山県言語聴覚士会 News Letter 第 27 号
京都リハビリテーション医学研究会 会誌 第 1 巻
第 24 回 岐阜県理学療法学会 「理学療法・温故知新」
秋田理学療法 Vol.22 No.1 2014
愛知県理学療法学会誌 Vol.27 特別号 2015
和歌山県病院協会会報 平成 27 年 1 月号 No.224
理学療法兵庫 No.2 2014
理学療法 臨床・研究・教育 第 22 巻
会誌 和臨技 第 42 号
理学療法 技術と研究 第 43 号 神奈川県理学療法士学会抄録
第 32 回神奈川県理学療法士学会 抄録集

以上の刊行物をご覧になりたい方は、

事務局、資料調査・管理部の酒井雄亮氏（琴の浦リハビリテーションセンター）までお問い合わせ下さい。

■事務局からのお願い■

庶務部より

庶務部長 小田 佳亮

施設長名変更時のお願い

変更があった場合、速やかに協会庶務宛にFAX またはメールにてご連絡下さい。

協会事務局 FAX：073-446-1207

メールアドレス：wpt-shom@pt-wakayama.or.jp

記載の内容に関しては、変更前の氏名と変更後の氏名の両方を記載お願いします。

また、フリガナの記載もよろしくお願い致します。

FAX にて送信して頂く場合は文字を大きめで崩さずに記載して頂けるようにお願いします。

編集後記

梅の花が去り、桜の花が心をくすぐる季節を迎えます。本会員の皆様はどんな花がお好みですか。一昔前の理学療法士は一般の方から見て希少な花だったかも知れませんが、今やその数は増え希少性は薄れてきています。しかし、理学療法を必要とされる方にとって希少な花が身近な花になったことは喜ばしい状況です。患者さんに喜ばれる花として存在し続けるために我々は日々精進が必要だと感じます。また希少なために出来なかった大きな花束を作ることも可能になっています。20代、30代の若い世代の協会の皆様は和歌山県理学療法士協会の活動にご協力いただいているでしょうか。巻頭言で中前会長が日本全体を見据えた言葉を述べておられますが、中前会長が一人ですべてを実行できるわけではありません。協会員一人ひとりが協力し、大きな力、大きなうねりとなることで初めて実行できるのです。和歌山県理学療法士協会の原動力は中前会長であり理事の先生方です。理事の先生方は熟年世代が多く未長く協会をお任せできるわけではありません。熟年世代の先生方が作り上げた礎を引き継ぎ、より発展させていくために、現在の熟年世代が最前線で尽力している間に若い世代は力をつけ上手くバトンを引き継いでいく必要があります。そうすることで若い世代の協会員が熟年世代になる頃にはさらに安定した組織力を発揮できるのではないのでしょうか。

(大西 幸宏)



公益社団法人

和歌山県理学療法士協会

公益社団法人 和歌山県理学療法士協会
〔事務局〕
琴の浦リハビリテーションセンター内
〒641-0014 和歌山市毛見1451
TEL 073(499)5000